

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名	Investigation of immunologic factors associated with differential disease outcomes in Zika virus infection, Vietnam
研究開発機関名	長崎大学
研究開発代表者名	モイ メンリン

指摘事項

● 評価できる点

ベトナム、アメリカ、日本の連携体制のもと、デング、ジカウイルス感染症の実態調査と血清免疫学的解析の結果、ベトナムにおけるフラビウイルス感染症の流行状況や人との疫学的バランス状況などを成果としてまとめ、複数の論文を発表したことは評価できる。また、若手研究者育成に関する取組が着実に行われたことも評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

血清免疫学的解析の結果が十分には示されておらず、計画している免疫細胞遺伝子の解析及び感染病態との関連性が明らかされることを期待する。また、本研究の成果がベトナム政府における流行対策に活用されるよう、継続的な取組みが望まれる。

以上